

第8回富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会 議案顛末

日時：平成30年12月 3日（月）
午後6時00分～午後7時30分
場所：富良野市役所 第三会議室

1. 開 会

（西野企画振興課長）

2. あいさつ

（原座長）

- ・10月10日に第7回共生ビジョン懇談会が開催され、事務局からは、「次回の会議で第2次共生ビジョン（案）を示す」とされていた。
- ・この間、市町村の事務担当者会議でも協議された第2次共生ビジョン（案）について、本日の会議では事務局から説明を受けて、質疑意見を踏まえ、パブリックコメント手続を経て首長会議に諮ることとなる。
- ・圏域としては、交通ネットワークである道路やJRの問題は喫緊の課題であると思うので、事務局からこのような現状についても説明をいただくこととする。

3. 議 題

（1）第2次富良野地区定住自立圏共生ビジョン（案）について

事務局より説明。

（原座長）

- ・本ビジョン（案）は、第1次共生ビジョンを踏襲するかたちで作成され、修正箇所は朱書きとされている。
- ・JRや道路の交通ネットワークについては、定住自立圏のベースとなるものであるから、各委員からご意見をいただきたい。

（遠藤委員）

- ・根室線は、根室本線ともいわれているがどちらが本当か？

（西野企画振興課長）

- ・JR北海道では、根室線という名称で統一しています。
- ・国鉄時代には、本路線は幹線と位置づけられ根室本線といわれていました。
- ・滝川市から新得町までを構成員とする「根室本線対策協議会」は、国鉄時代の昭和56年に発足したため、根室本線という名称をいまでも使っています。

（武田委員）

- ・JRの問題については、これまでもいろんな場で貨物の重要性など話しており、この

問題について、共生ビジョン懇談会では何をどう訴えていけばいいのか。

- ・JAの立場で出す意見については、共生ビジョンにどう波及させられるのか。

(西野企画振興課長)

- ・本懇談会でも出された意見については、事業内容等の一部修正も含め、首長会議では「このような意見が懇談会でも出された」と説明していく予定であります。

(日向委員)

- ・災害時の対応に向けた行政間のネットワークについては、災害ボランティアの振り分けを行政間でぜひ連携してやっていただきたい。
- ・メイドインフラノ事業とは、どのような取り組みか。

(後藤経済部長)

- ・富良野圏域で獲れたものを、富良野市内で加工製造されたものを認定している制度です。

(日向委員)

- ・メイドインフラノ事業については、富良野圏域として取り組めないか次年度の取り組みとして検討願いたい。

(武田委員)

- ・懇談会でも出された意見については、一つでも二つでもビジョンに掲載し取り組んでいただきたい。
- ・過去の懇談会では、地域センター病院の問題について意見が出されていたが、そのことが共生ビジョンに反映されていないのではないか。

(富田委員)

- ・災害時の対応に向けた行政間のネットワークについては、自衛隊との連携についても盛り込んでどうか。

(稲葉総務部長)

- ・それぞれの市町村では、個別に防災に関する協定を多々結んでおり、自衛隊など関係機関とも連携を図っている。このビジョンでは行政間の内容について掲載しています

(森委員)

- ・どこの事業所でも労働力確保に頭を悩ませており、この問題について圏域として議論することはできないか。

(武田委員)

- ・広域で議論することは、他の会議体でもあると思うが、どの会議体で言ったらいいの

か、この懇談会で話すことが適切なのか。

(稲葉総務部長)

- ・この共生ビジョン懇談会は、多様な分野について圏域として議論できる場であるため、各委員から出された意見については、首長会議にも伝えていきます。

(石川委員)

- ・観光客の目線で考えるならば、定住自立圏は美瑛町も含めて考えるべきではないか。
- ・JRの問題では、旭川空港への鉄道の乗り入れとして旭川空港線を考える必要がある。

(角波委員)

- ・協会病院の医師確保については、もう少し書きたす必要があるのではないか。

(遠藤委員)

- ・北海道舞台塾ふらの開催については、道の補助が終わると聞いているが。

(山下市民生活部長)

- ・北海道舞台塾の取り組みについては、継続する方向で議論していきます。

(石川委員)

- ・災害時の対策については、物流事業者との間でネットワークを築いておく必要がある。

(稲葉総務部長)

- ・災害時における物流事業者との関わり方について、今後研究をしたい。

(武田委員)

- ・共生ビジョンには、それぞれの個別事業に対する金額が入ってくるのか。

(西野企画振興課長)

- ・各市町村では、2月の予算編成を経て事業費が確定するので、最終的な共生ビジョンでは事業費が書き込まれて策定されます。

(原座長)

- ・何か他に意見がありましたら、後日、事務局のほうへご連絡願います。
- ・以上をもって、本日提出された意見について事務局でもご検討いただき、その後、共生ビジョン（案）のパブリックコメント手続を経て、首長会議に提出され3月までに策定というスケジュールを進めてよろしいでしょうか。

- ・意義なしとの声により、懇談会を終了する。